

実地視察大学の概要

○課程認定を受けている学科等の概要

大学名		富山大学		設置者名	国立大学法人富山大学			
学部・学科等の名称等			認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況 (平成29年度)			
学部	学科等	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数		教員 就職者数
						実数	個別	
人文学部	人文学科	170人	中一種免(国語)	平成18年度	202人	17人	5人	7人
			中一種免(社会)	平成18年度			9人	
			中一種免(英語)	平成18年度			2人	
			中一種免(中国語)	平成18年度			0人	
			中一種免(ドイツ語)	平成18年度			0人	
			中一種免(ロシア語)	平成18年度			0人	
			高一種免(国語)	平成18年度			5人	
			高一種免(地理歴史)	平成18年度			8人	
			高一種免(公民)	平成18年度			6人	
			高一種免(英語)	平成18年度			3人	
			高一種免(中国語)	平成18年度			0人	
			高一種免(ドイツ語)	平成18年度			0人	
			高一種免(ロシア語)	平成18年度			0人	
			人間発達 科学部	発達教育学科			80人	
小一種免	平成18年度	57人						
特支一種免(知・肢・病)	平成19年度	8人						
人間環境システム学科	90人	中一種免(社会)		平成18年度	88人	46人	5人	24人
		中一種免(数学)		平成18年度			4人	
		中一種免(理科)		平成18年度			9人	
		中一種免(保健体育)		平成18年度			15人	
		中一種免(家庭)		平成18年度			2人	
		中一種免(英語)		平成18年度			10人	
		高一種免(地理歴史)		平成18年度			4人	
		高一種免(公民)		平成18年度			4人	
		高一種免(数学)		平成18年度			4人	
		高一種免(理科)		平成18年度			9人	
		高一種免(保健体育)		平成18年度			15人	
理学部	数学科	50人	中一種免(数学)	平成18年度	48人	26人	20人	12人
			高一種免(数学)	平成18年度			26人	
	物理学科	40人	中一種免(理科)	平成18年度	37人	12人	9人	4人
			高一種免(理科)	平成18年度			12人	
	化学科	35人	中一種免(理科)	平成18年度	38人	6人	4人	2人
高一種免(理科)			平成18年度	6人				
生物学科	35人	中一種免(理科)	平成18年度	37人	5人	4人	0人	
		高一種免(理科)	平成18年度			5人		
生物圏環境科学 科	30人	中一種免(理科)	平成18年度	35人	6人	5人	1人	
		高一種免(理科)	平成18年度			6人		
工学部	工学科	365人	高一種免(工業)	平成30年度	-	-	-	-
芸術文化 学部	芸術文化学科	110人	中一種免(美術)	平成18年度	114人	13人	11人	2人
			高一種免(美術)	平成18年度			13人	
都市デザ イン学部	地球システム科 学科	40人	中一種免(理科)	平成30年度	-	-	-	-
	都市・交通デザ イン学科	40人	高一種免(理科)	平成30年度	-	-	-	-
			高一種免(工業)	平成30年度	-	-	-	-
	材料デザイン工 学科	60人	高一種免(工業)	平成30年度	-	-	-	-
入学定員合計		1,145人	合計		679人	200人	344人	90人
備考	・「学部・学科等の名称等」欄は、平成30年4月1日現在の名称・定員である。 ・「免許状取得者数」欄の「実数」欄は各学科等の実人数、「個別」欄は各学科等内の教職課程ごとの人数である。							

大学名		富山大学(大学院)		設置者名	国立大学法人富山大学									
学部・学科等の名称等			認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況(平成29年度)									
学部	学科等	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数		教員就職者数						
						実数	個別							
人文科学研究科	人文科学専攻	8人	中専免(国語)	平成23年度	8人	2人	0人	1人						
			中専免(社会)	平成23年度			1人							
			中専免(英語)	平成23年度			1人							
			中専免(ドイツ語)	平成23年度			0人							
			中専免(中国語)	平成23年度			0人							
			高専免(国語)	平成23年度			0人							
			高専免(地理歴史)	平成23年度			1人							
			高専免(公民)	平成23年度			0人							
			高専免(英語)	平成23年度			1人							
			高専免(ドイツ語)	平成23年度			0人							
			高専免(中国語)	平成23年度			0人							
			人間発達科学研究科	発達教育専攻			6人		幼専免	平成23年度	7人	2人	0人	1人
小専免	平成23年度	1人												
特支専免(知・肢・病)	平成23年度	1人												
発達環境専攻	6人	中専免(社会)		平成23年度	6人	3人	2人	1人						
		中専免(数学)		平成23年度			0人							
		中専免(理科)		平成23年度			0人							
		中専免(保健体育)		平成23年度			1人							
		中専免(家庭)		平成23年度			0人							
		中専免(英語)		平成23年度			0人							
		高専免(地理歴史)		平成23年度			2人							
		高専免(公民)		平成23年度			1人							
		高専免(数学)		平成23年度			0人							
		高専免(理科)		平成23年度			0人							
		高専免(保健体育)		平成23年度			1人							
		高専免(家庭)		平成23年度			0人							
		高専免(英語)		平成23年度			0人							
		経済学研究科		地域・経済政策専攻			6人		中専免(社会)	平成18年度	3人	0人	0人	0人
									高専免(地理歴史)	平成18年度			0人	
高専免(公民)	平成18年度		0人											
芸術文化科学研究科	芸術文化学専攻	8人	高専免(商業)	平成18年度	10人	0人	0人	0人						
			中専免(美術)	平成23年度			0人							
理工学教育部	数学専攻	8人	中専免(数学)	平成18年度	8人	4人	4人	3人						
			高専免(数学)	平成18年度			4人							
	物理学専攻	12人	中専免(理科)	平成18年度	16人	0人	0人	1人						
			高専免(理科)	平成18年度			0人							
	化学専攻	12人	中専免(理科)	平成18年度	16人	4人	2人	1人						
			高専免(理科)	平成18年度			4人							
	生物学専攻	12人	中専免(理科)	平成18年度	14人	1人	1人	0人						
			高専免(理科)	平成18年度			1人							
	地球科学専攻	10人	中専免(理科)	平成18年度	6人	1人	1人	1人						
			高専免(理科)	平成18年度			1人							
	生物圏環境科学専攻	10人	中専免(理科)	平成18年度	14人	1人	1人	0人						
			高専免(理科)	平成18年度			1人							
電気電子システム工学専攻	33人	高専免(工業)	平成18年度	44人	1人	1人	0人							
		高専免(工業)	平成18年度			1人								
知能情報工学専攻	27人	高専免(工業)	平成18年度	30人	1人	1人	0人							
		高専免(工業)	平成18年度			1人								
機械知能システム工学専攻	33人	高専免(工業)	平成18年度	44人	1人	1人	1人							
		高専免(工業)	平成18年度			1人								
生命工学専攻	18人	高専免(工業)	平成24年度	23人	0人	0人	0人							
		高専免(工業)	平成24年度			0人								
環境応用化学専攻	22人	高専免(工業)	平成24年度	23人	1人	1人	0人							
		高専免(工業)	平成24年度			1人								
材料機能工学専攻	20人	高専免(工業)	平成24年度	24人	0人	0人	0人							
		高専免(工業)	平成24年度			0人								

大学名		富山大学(大学院)(続き)		設置者名	国立大学法人富山大学			
学部・学科等の名称等			認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況(平成29年度)			
学部	学科等	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数		教員就職者数
						実数	個別	
教職実践 開発研究 科	教職実践開発専 攻	14人	小専免	平成28年度	12人	10人	4人	1人
			中専免(国語)	平成28年度				
			中専免(社会)	平成28年度				
			中専免(数学)	平成28年度				
			中専免(理科)	平成28年度				
			中専免(音楽)	平成28年度				
			中専免(美術)	平成28年度				
			中専免(保健体育)	平成28年度				
			中専免(保健)	平成28年度				
			中専免(技術)	平成28年度				
			中専免(家庭)	平成28年度				
			中専免(職業)	平成28年度				
			中専免(職業指導)	平成28年度				
			中専免(英語)	平成28年度				
			中専免(ドイツ語)	平成28年度				
			中専免(フランス語)	平成28年度				
			中専免(中国語)	平成28年度				
			中専免(ロシア語)	平成28年度				
			中専免(宗教)	平成28年度				
			高専免(国語)	平成28年度				
			高専免(地理歴史)	平成28年度				
			高専免(公民)	平成28年度				
			高専免(数学)	平成28年度				
			高専免(理科)	平成28年度				
			高専免(音楽)	平成28年度				
			高専免(美術)	平成28年度				
			高専免(工芸)	平成28年度				
			高専免(書道)	平成28年度				
			高専免(保健体育)	平成28年度				
			高専免(保健)	平成28年度				
			高専免(看護)	平成28年度				
			高専免(家庭)	平成28年度				
			高専免(情報)	平成28年度				
高専免(農業)	平成28年度							
高専免(工業)	平成28年度							
高専免(商業)	平成28年度							
高専免(水産)	平成28年度							
高専免(福祉)	平成28年度							
高専免(商船)	平成28年度							
高専免(職業指導)	平成28年度							
高専免(英語)	平成28年度							
高専免(ドイツ語)	平成28年度							
高専免(フランス語)	平成28年度							
高専免(中国語)	平成28年度							
高専免(ロシア語)	平成28年度							
高専免(宗教)	平成28年度							
入学定員合計		277人	合計		318人	32人	60人	11人
備考	・「研究科・専攻等の名称等」欄は、平成30年4月1日現在の名称・定員である。 ・「免許状取得者数」欄の「実数」欄は各学科等の実人数、「個別」欄は各学科等内の教職課程ごとの人数である。							

教職課程実地視察大学に対する講評

実地視察日：平成31年1月31日（木）

実地視察大学：富山大学

実地視察委員：坂越正樹委員、伏木久始委員、太田光洋委員

【全般的事項】

- 教員養成に関する教育課程及び教員組織等について、教職課程認定基準等の観点ではおおむね問題無く実施されているものの、その他では是正すべき点も確認された。今後教員養成の水準の維持・向上に努めていただきたい。

【個別事項】

1. 教職課程の実施・指導体制（全学組織等）

- 教員養成に対する理念・構想を示しているが、それを具現化するための教職課程に対する全学的な組織、教育課程及び教員組織をより一層充実させるように努めていただきたい。具体的には、教職に関する全学組織で定められた教育課程の編成方針の下、その内容の点検・検討ができるような体制・仕組みの構築が必要であるため、現在の教職支援センターの体制強化を図っていただきたい。
- 「教科ワーキンググループ」において、学部をまたいで各教科の教職課程のカリキュラムやシラバス、評価に関する共通理解を図る取り組みを行っていることは評価できる。

2. 教育課程（教職に関する科目及び教科に関する科目）、履修方法及びシラバスの状況

- 人間発達科学部発達教育学科は教員養成を主たる目的としている学科であるため、今後、学位プログラムと教職課程の体系性について見直しを御検討いただきたい。
- 開放制により教員養成を行う場合、免許法上の最低修得単位数である20単位分の「教科に関する科目」に加え、学科教育としての専門科目を履修することによって、各教科の専門性を高めていくことが重要であるが、一つの学科等で複数の異なる免許教科の免許状を取得可能とする学科等の状況が確認された。今後、適切なコース履修等を検討するなど、各教科の専門性を担保できるよう履修上の配慮・工夫を図っていただきたい。

3. 教育実習の取組状況

- 教育実習は、大学による教育実習指導体制や評価の客観性の観点から、遠隔地の学校や学生の母校における実習ではなく、可能な限り大学が所在する近隣の学校に

において実習校を確保することが望ましい。今後、地元教育委員会や学校との連携を進め、近隣の学校における実習先の確保に努めていただきたい。なお、やむを得ず遠隔地の学校や学生の母校における実習を行う場合においても、実習先の学校と連携し、大学が教育実習に関わる体制を構築するとともに、学生への適切な指導、公正な評価が保証されるよう努めていただきたい。

4. 学生への教職指導の取組状況及び体制

- 「教職支援センター」に、学校現場経験者を教職特任教授として3名雇用し、随時相談可能な体制を構築するなど、きめ細やかな履修指導を行っていることが確認された。引き続き、学生のニーズに応じて、当該取り組みの充実に努めていただきたい。

5. 教育委員会等の関係機関との連携・協働状況（学校現場体験・学校支援ボランティア活動等の取組状況）

- 平成30年1月より富山県教育委員会と大学の間で「富山県教員養成ワーキンググループ」を設置し、富山県における教員養成についての認識の共有や連携体制が構築されている状況が確認された。
- 教職に関する授業科目において、富山県教育委員会から現職教員を招聘し、講義や演習指導を行っている点が確認された。
- 小学校の教職課程においては、学校支援ボランティア活動を単位化するなど、積極的に取り組んでいる状況が確認された。今後も引き続き、地元教育委員会・学校との一層の連携・協働に努めていただきたい。

6. 施設・設備（図書を含む。）の状況

- 教職関連図書・雑誌については、おおむね整備されている。教職を志す学生が、教育に関する最新の情報を入手することができるように、引き続き図書環境の充実に努めていただきたい。また、デジタル教科書の整備についても検討いただきたい。
- ラーニングコモンズ等、学生が協同してグループディスカッションを行えるような環境が整備されていることが確認された。今後、より一層の施設の充実に努めていただきたい。

7. その他特記事項

- 教職課程認定を受けていない免許状が取得可能であるような履修指導を行っていたことが確認されたため、大学案内及び学生便覧等における表記について精査いただきたい。
- 平成30年度入学生に適用する教職課程について、教職課程の変更を行った結果、教育職員免許法に定める最低修得単位数を満たす科目が開設されていない状況となっていたことが確認された。法令違反の状態となることのないよう適切な手続きを行うとともに、教職課程を点検する全学的な組織及び体制の構築に努めていただきたい。
- 過去の教職課程認定において、大学都合による専任教員変更の事案が審査期間中に複数回発生したことが確認された。教職課程における教育課程及び教員組織につ

いては、少なくとも認定後から教育課程の完成年度までは変更を行わないことを前提に申請を行うものであるため、教員配置及び教員組織の在り方について十分に留意した上で、教職課程の運営に取り組んでいただきたい。

- 事務局職員と教員との連携・協力関係を築き、教員養成の維持向上に努めていただきたい。